

来る、5月27日(火)、大宮ソニックシティ・大ホールにて、埼玉県知事上田きよし氏の「上田県政10年・検証大会」が開催されます。私も実行委員のメンバーとして参加する予定です。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

八潮市議会議員 あさだ和宏 (46歳) 無所属 (自民クラブ所属)



継続こそ・力なり!!
政策提言から実現へ!!

あす
未来の八潮へ全力投球
和宏のほっとかない!!
NEWS
vol.54 (3月議会報告)

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
電話 .090-3402-6388

● 発行日 平成26年5月 ●

討議資料



プロフィール

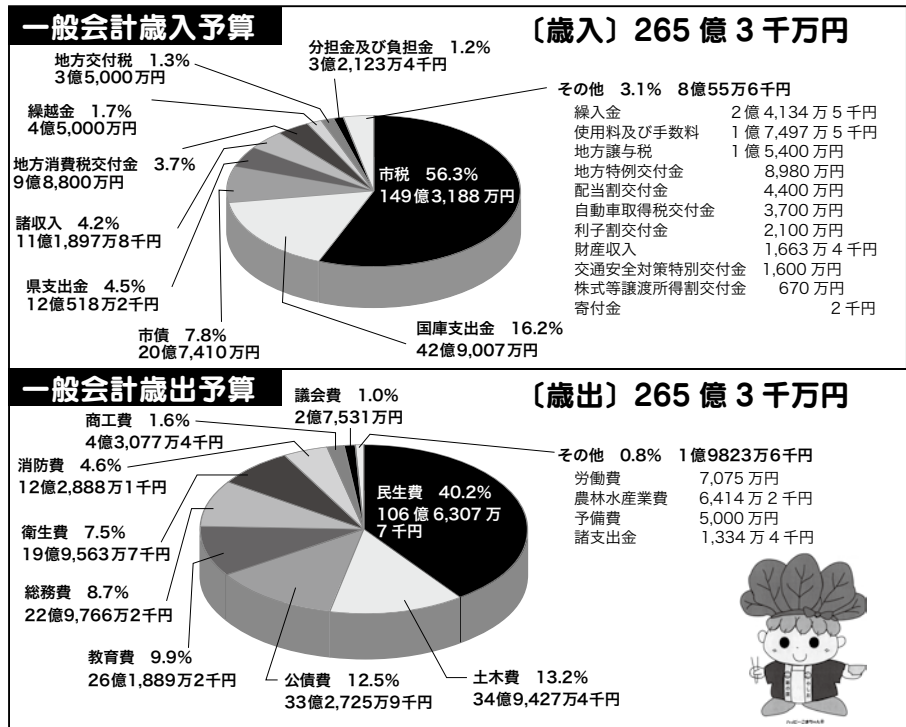
1968年 3月28日
八潮市に生まれる(現在46歳)
市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業
私立成立学園(商業科)を卒業
専修大学 法学部法律学科卒業
(40歳を機に大学へ入学、働きながら
4年間通学し、2012年卒業)
01年9月市議選に立候補(33歳)
1229票12位当選
05年9月市議選に立候補(37歳)
1415票9位当選(2期目)
09年9月市議選に立候補(41歳)
1733票3位当選(3期目)
13年9月市議選に立候補(45歳)
2164票3位当選(4期目)
総務文教常任委員会・委員長
八潮市土地開発公社・副理事長
所属会派 自民クラブ

所属団体

・青年地方議員の会・埼玉青志会

八潮市議会 3月定例議会が開催されました

今定例議会では、平成26年度八潮市一般会計予算・265億3,000万円(前年度比2,000万円増)を含め、上程された議案がすべて可決しました。



歳出予算・八潮市民一人あたりの予算の使われ方

| 分野 | 市民一人あたりの金額 | 主な内容 |
|-----|------------|--------------------------|
| 民生費 | 125,480円 | 生活保護・児童手当等の福祉のための経費 |
| 土木費 | 41,109円 | 道路・街路・河川・公園等の整備・維持の経費 |
| 公債費 | 39,150円 | 市債(借金)の元金、利子を償還するための経費 |
| 教育費 | 30,810円 | 小中学校教育、図書館などの運営のための経費 |
| 総務費 | 27,030円 | 全般的な管理事務・徴税・戸籍等の経費 |
| 衛生費 | 23,480円 | ゴミの処理経費・基本健康診査・予防接種などの経費 |
| 消防費 | 14,460円 | 消防や火災予防、消防団などの経費 |
| 商工費 | 5,070円 | 商工業や観光振興などの経費 |
| 議会費 | 3,240円 | 議会運営のための経費・議員報酬 |

※歳出予算を本市の人口(約85,000人)で割った数字となっています。この数字はあくまでも目安ですのでご了承ください。

「恋するフオーチョクッキー・八潮バージョン」ご覧になりましたか? 私がブログ等で「八潮でも作りたい...」と呟いたのが発端となり、賛同者が募りました。参加団体50チーム、総勢1000人以上が参加し、作品が完成しました。投稿サイト「YouTube」にアップされ、再生回数も23000回を突破しています。撮影にご協力いただいた皆さん、おかげさまで実現しました。

一般質問

第5次 八潮市総合計画について

昨年12月に、第5次八潮市総合計画策定方針が示されましたが、今後、総合計画を策定するにあたり、市の方針・考え方について以下、5点についてお聞きします。

- ① 計画策定にむけた政策研究はどのように行ってきたのか
- ② 計画の最終年度となる平成37年度の将来人口は何万人と想定するのか
- ③ 計画を策定する際、将来の財政フレームに関し、市の基本的な考え方について
- ④ 計画の中で、「都市としてのブランディング戦略」を明確にする必要があると考えますが、市の見解について
- ⑤ 市民参加の一つとして「計画策定市民会議」の設置が予定されていますが、その内容について

承諾をいただいた市民と公募により募った市民により「市民参加型会議」を3回実施し、市政に対する貴重なご意見をいただいた。

庁内では、現在、進行中の第4次八潮市総合計画後期基本計画における施策の実施状況を分析、各部署において施策の検証を行っており、現在取りまとめているところです。

② 将来人口をどの程度見込むかについては、今後、庁内の委員会や振興計画審議会でご審議いただき決定したいと考えています。

③ 歳入に関しては、一般財源のうち市税及び特定財源は、過去の推移等を踏まえ、現行の制度に基づき推計を行っていく。歳出に関しては、現行の計画や制度を基に推移を行うとともに、今後、見込むことが出来る計画の事業費を積み上げるなどして推計する考えです。

④ 都市のブランディング戦略とは、都市のイメージを高めること、都市の魅力や価値が高まり「住んでみたい」「働きたい」などという意識を啓発するような取り組みを戦略的に進めることであると認識しています。今後、市民の皆様のご意見やご要望を踏まえ、庁内において「都市のブランディング戦

略」を明確にする必要性を含めて検討していく考えです。

⑤ 無作為抽出した市内在住の18歳以上の市民の方に参加依頼書を郵送し、承諾を得た方に参加してもらった市民協議会方式で実施する予定。会議は3回実施、参加していただく市民の方の人数は30人を予定しています。

和宏の考え・意見

平成27年度末で終了する「第4次八潮市総合計画」に変わり、あらたに平成28年度から平成37年度までの期間（10年間）とする「第5次八潮市総合計画」の策定が予定されています。
(策定業務委託料 1,090万)
(ちなみに、この総合計画ですが、平成23年の地方自治法改正により、自治体が総合計画を策定する「義務」はなくなり、その判断は各自治体に委ねることになりました。本市では、庁内で検討した結果、策定すべきの方針が固まりました)

をきちんと検証すること

2. 計画を策定する際に、「コンサルタント任せではなく、出来るだけ市職員の「力」で策定すること。

3. 多種・多様な市民の声を反映出来る会議等を開催すること

4. 審議会等、市民が参加する会議において、事前に市の財政状況、将来予測人口等のデータを提供し、委員が、市の現状・将来を見据えた議論が出来るように配慮すること

5. 八潮市がどんな街を目指しているのか、市のイメージ戦略・シティーセールスを進めること

わが国は、本格的に人口自然減時代に突入しました。このことは、自治体間競争がさらに激化することを意味しており、今後は、「ヒトや企業に選ばれる自治体」を目指していく必要があります。

総合計画は、その街の未知の課題「対応指針」となりうるものであり、今までのような実現性に乏しい「総花的」な計画でなく、より実態に沿った計画にすることが重要と考えます。

消防団の充実について

総務省消防庁は、26年ぶりに消防団装備に基準を一新、携帯用

1. 現在の、第4次総合計画に関して、成果を含め「課題・問題点」

今回、策定することに関して異論はありませんが、再質問の際に幾つかの点に関して私の考え・意見を述べさせていただきます。

無線機などの装備、拡充を推進しており、本市でも、消防団装備の更なる充実をする必要があると考えますが市の見解を。

現在、本市では、東日本大震災を教訓として、消防団車両の更新時に、大規模災害時において救急・救助活動が効率的に行えるよう、救急セットや応急担架などの救急資機材やチェーンソーなどの救助資機材を積載した車両に更新するなど、消防団車両の装備の更新を図っています。今後、携帯無線等については、来年度、工事予定している消防救急無線のデジタル化に合せて、順次、整備計画を進めています。今後においても、消防団のご意見を伺う中で、計画的に装備の充実を図り、消防団の総合力を向上させていく考えです。

消防団を退団した方が、「機能別消防団」という制度を利用し、間接的に消防団活動に協力、消防団の充実を図る自治体があります。本市でも、同制度を導入する必要がありますが、市の見解を。

本市でも、今後、消防団員の確保が厳しい状況となることも想定されますことから、同制度を導入するための条例定数の検討や制

度導入への課題など、調査・研究したい。

和宏の考え・意見

昭和63年以降、大きな変更がなかった消防団装備の基準が26年ぶり更新となりました。

本市でも、消防団車両の装備等に関して充実を進めていますが、個々の団員に対する装備は、近隣市と比較して不足している点もあると関係者からお聞きしました。

一例では、火災現場等で活動する際、危険物を踏み抜かないように底の厚い安全靴(編み上げ靴)の配布はされていないのが現状です。

国の基準は一新されましたが、装備を充実するか、しないか、あとは各自治体が判断します。

再質問の答弁では、「今後、消防団からの意見を聞いて装備を充実を図りたい」という趣旨の答弁がありました。是非とも、関係者から早急に意見を聞いて、装備の充実を図ることを願います。

防犯灯のLED化について

犯罪の発生を未然に防ぎ、明るいまちづくりを進めるために、町会・自治会等が防犯灯を設置しています。市では、その設置費、修繕料、電気料金について補助金

を交付していますが、今後は、防犯灯もLED化を推進し、ランニングコストの削減を図る必要があると思いますが、市の見解を。

町会・自治会が管理する防犯灯は、平成26年度3月1日現在、「4,368基」設置されており、そのうち、LED灯が「72基」となっています。LED灯については、平成22年度から一部町会・自治会で設置を始めており、平成25年度には、八潮市町会・自治会連合会総会において、LED灯による電気料金の削減や長寿命化による修繕費の削減などの効果について説明をし、設置のお願いをしたところです。市では、今後も引き続き、町会・自治会に対しLED灯の設置を積極的にお願ひしていく考えです。

和宏の考え・意見

平成24年度決算では、防犯施設整備事業として、町会・自治会に對して、約1,800万の補助金を交付しています。(内訳は、電気料として、約1,500万、修繕費として約220万、設置費として約160万)

防犯灯をLED灯に変更する際、機材の購入等の初期投資は必要となりますが、LED灯に変更する

ことにより、電気料の削減、球の交換等のランニングコストの削減は大きな効果があります。

※一般質問の内容についてはページの関係上、一部抜粋、要約している部分があります。詳しくは、5月下旬に更新予定の市議会HP・会議録をご参照ください。

6月議会定例会のお知らせ(予定)

| 日曜日 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 |
|-----|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----|
| 1 | 2 本議会開会(10時) | 3 議案調査 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 8 | 9 議案調査 | 10 本会議(総括質疑) | 11 委員会(総務文教) | 12 委員会(建設水道) | 13 委員会(福祉環境) | 14 |
| 15 | 16 本会議(一般質問) | 17 本会議(一般質問) | 18 本会議(一般質問) | 19 本会議(最終日) | 20 | 21 |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 | | | | | |

※本会議は10時開議・委員会は9時開議となります。

3月議会定例会 傍聴者数93人

過日、八潮市議会運営委員会の行政視察があり、新潟県・柏崎市議会、新潟市議会の議会改革に関する取り組みが行われますので、積極的に取り入れていきたいと思っております。

『手話言語法(仮称)の早期制定を求める意見書』が可決しました。

議会最終日(20日)、私が所属する自民クラブ代表の瀬戸議員が提出者となり、意見書を提出、同意見書が「全会一致」で可決をしました。(ご賛同いただきました他会派の議員の皆さん、ありがとうございました) 同意見書の趣旨は、2006年12月に国連総会において採択、2008年に発効した「障害者の権利に関する条約」第2条に定義された内容に関して、わが国でも「批准」に向けて国内法の整備を進めていますが、それに併せて、早期に「手話言語法」を制定し、自由に手話ができる社会資本の整備を求める内容です。

私自身、昨年、さいたま市内で開催された手話言語法に関するシンポジウムに参加し、あらためて法の早期制定、条例の整備に関して必要性を強く感じ、今回、提案させていただきました。

同意見書の採択をした自治体議会数は全国でも約150程度ということであり、埼玉県内でもまだ少ないのが現状です。今後、多くの自治体議会でも採択されることを願っています。



あさだ和宏を育てる会・日帰り親睦旅行のご案内

毎年、恒例となっています、日帰り親睦旅行の日程が決定しました。日程は9月7日(日)を予定をしています。

行き先、内容に関しては、次号(7月発行予定)でお知らせします。



議員を囲む集いが開催されました

さる3月8日(土)平成26年 議員を囲む集い・議会報告会が行われました。

当日、約90名の皆様のご参加があり、ご来賓として、衆議院議員・三ツ林裕己様、同・鈴木義弘様(代理)、八潮市長・大山忍様、埼玉県議会議員・森伸一様、自民クラブ所属議員の皆様のご臨席をいただきました。

ご出席していただいた皆様、ありがとうございました。

和宏の独り言... 「良い習慣を身につける」



今回も「和宏のほっとかないNEWS」をお読みいただきありがとうございます。もうお気づきの方も多いかと思いますが、一般質問のコーナーを中心に、字の大きさを大きくしたり、行間を広げる等の工夫をしましたが、いかがだったでしょう…。ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。

さて、新年度がスタートし、早1ヵ月が経過しました。この4月から新しい生活をスタートした皆さんも、そろそろ新しい環境に慣れてきた時期ではないでしょうか。さて、新しい生活(環境)に慣れた皆さんの次のステップとして、「良い習慣を身につける」ことが大切だと私は考えます。

「習慣は第2の天性・・・」とも言われています。一人、一人が前向きな気持ちで過ごすことが「習慣」になれば、それはその人の性格となり特徴となります。明るく、元気に、前向きに世の中を見ている人の前には必ず多くのチャンスが広がり、良い結果になると思います。

日々の生活を過ごす中で、楽しいこと嬉しいこと、また悲しいこと等、様々ですが、「良い習慣」を身につけることにより、充実した日々を過ごすことが可能となります。

是非、皆さんも良い習慣が出来るように心掛けて、日々の生活を過ごしてみませんか。

和宏

我が家の一人息子が小学校4年生の時に、保護者としてPTA活動に参加。その後、中学、高校と、PTA役員(会長・副会長)を11年、務めさせていただきました。皆さんのご協力により、この春で任務を終了することが出来ました。感謝!